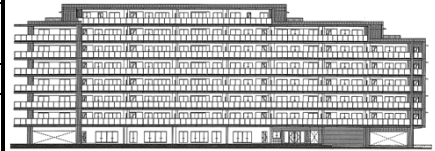


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヒューマインド横手新築工事	階数	地上8F
建設地	福岡県福岡市南区横手3丁目335	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域 法22条区域 第7地域	平均居住人員	200 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年1月15日
敷地面積	2,297 m ²	作成者	和智広一
建築面積	944 m ²	確認日	2018年1月16日
延床面積	5,168 m ²	確認者	和智広一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	住戸内の快適な空間の確保と周辺環境に適合したまちづくりに配慮した。	
その他	-	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
高い断熱性能を確保。室内建材等はほぼ全面F☆☆☆☆を使用し良好な室内環境とした。	維持管理、作業が容易な仕上とした。階高に配慮し、ゆとりある空間とした。	統一感をもたせる景観とする為、周辺地域に配慮した色彩、外構計画とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4に相当し、採光・通風が確保できる建物配置とした。	水資源保護の為、節水コマを取付け、節水型便器を採用。	交通渋滞抑制の為、適切な駐車場、駐輪場を確保。来客等駐車スペースも確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される